

2017年度
埼玉地区主題

主にある交わりを
深めよう

日本基督教団関東教区

埼玉地区通信

2018年8月5日
発行人 日本基督教団 関東教区
埼玉地区委員会
委員長 川 染 三 郎
鴻巣市東1-1-27
http://www5b.biglobe.ne.jp/~saitama/
印刷所 (株)シャローム印刷

二〇一八年度地区総会報告

書記 大坪 直史

二〇一八年度埼玉地区総会は、三月二十一日(水・祝)、埼玉新生教会を会場に、議員一四三名中一一五名の出席を得て開催された。

開会礼拝は、三月で上尾合同教会を辞される秋山徹牧師にしていたいた。



総会議長は川染三郎牧師(地区委員長・鴻巣)が務められた。また、関東教区問安使の福島純雄牧師(副議長・筑波学園)と伊賀滋氏(宣教師部委員・太田八幡)の挨拶を受けた。



(一) 二〇一七年度地区諸報告、地区会計決算報告及び会計監査報告が、其々質疑応答後、賛成多数で承認された。

(二) 地区委員選挙

教師は町田さとみ(初雁・再)、金田佐久子(西川口・新)、竹内紹一郎(深谷西島・新)が選出された。信徒は栗原初音(浦和別所・再)、本田彰(大宮・新)が選出された。任期継続中の教師は川染三郎(鴻巣)、小林眞(岩槻)、大坪直史(熊谷)、指方周平(東所沢)。信徒は大熊眞弓(東京聖書学校吉川)、川口孝弘(埼玉新生)。なお、教師の久保島泰(東大宮)、末永廣(小川)、信徒の国府田秀行(上尾使徒)は二期四年を満了した。

(三) 二〇一八年度宣教活動計画について

地区主題は「主にある交わりを深めよう」、聖句は「一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しむ、一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのです。」(コリントの信徒への手紙 I 十二章二十六節)を継続とした。

川染三郎委員長より以下四つの活動計画が提起され、賛成多数で可決された。

① 最寄り区の諸教会・伝道所の一致と連帯の強化に努めたい。② 最寄



り区の教師を中心として、交わりと協力体制を作り上げたい。

③ 伝道協力協議会を行い、小規模教会・伝道所のために、協力する方法を検討したい。

④ 地区委員会は、主の恵みを信じ、希望をもつて、「福音の前進」に仕えたい。

(四) 二〇一八年度予算は、賛成多数で可決された。

(五) 議案第七号・地区会計監査委員選出、第八号・地区総会議事録確認、第九号・次回地区総会会場及び日程について、地区委員会に付託することが賛成多数で可決された。

今年度の埼玉地区の歩みが、教会の頭なる主の御支配のもと、実り豊かなものとなりますようお祈りいたします。

最後に、会場教会の埼玉新生教会の中村眞牧師と教会員の皆さまに、心から感謝を申し上げます。(地区書記)

関東教区
総会の聖餐
式で「こうべ



を垂れて受けましょう」と司式者がわたしたちに促した。「こうべを垂れる」のは謙虚さ、謙遜さを所作で表すことだ。わたしたちはこうべを垂れて祈ってきた。礼拝で祈るときに、ちよっと目を開けて見ると、両手を胸の前で組んで頭を垂れる人の姿ばかりだ。

主イエスは五つのパンと二匹の魚を手に取り、「天を仰いで賛美の祈りを唱えた」と四つの福音書に記されている。

ここからユダヤ人の祈りの姿勢が分かる。天を仰いで、手を広げる(上げる)のだ。目を開けたままのはず。うつぶせや顔を下げた胸を打つのは悲しみや懺悔をあらわすときだ。どうやら、「手を合わせ、目を閉じる」のはゲルマン民族の習慣らしい。

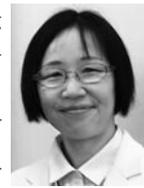
試してほしい。こうべを垂れながら悩むと、駄目なことだけが浮かぶから。顔を上げて悩むと、全く異なる思いが沸き出てくるはず。顔を上げながら落ち込むのは難しい。神さまはそのように人間を作られたのだ。上向きの顔は自己免疫力を高めるといふ。感謝や賛美のときにこそ、顔を上げて祈りをささげたい。

(中村)

新地区委員紹介

キリストの愛に包まれて

西川口教会 金田佐久子



昨年、ある奉仕を依頼されたとき「経験豊富な金田

先生に…」と言われ内心、その言葉にふさわしくない自分を恥じました。今まで何をしてきたのか、問われた思いがしたからです。教団の教師になって十四年、西川口教会の主任になって十四年経ちました。年齢や経験から中堅教師と言えるのかもしれませんが、しかし、教会の現状を思うとき、牧師の責任の重さを痛感しているこの頃です。

地区総会で地区委員に選ばれましたが、神の召しと信じてお引き受けしました。

「愛を身に着けなさい。愛は、すべてを完成させるきずなです」(コロサイ三章十四節)。今年の西川口教会の御言葉です。キリストの愛が包んでいてくださるので、この愛がわたしたちを完成へと導いてくれることを信じて、歩みます。アーモンドの会とホームページ委員会を担当いたします。

再び地区委員に

選ばれて

深谷西島教会 竹内紹一郎



二〇〇六年度から地区委員、二〇〇七年度からは地区書記として奉仕させて頂き、再度地区委員会に加えて頂きました。昨年度は地区教師委員として常設委員会改革の是非について教師委員会で協議し、

教師会の充実について真剣に考えさせて頂きました。地区規則は、教憲・教規にない「連帯」という言葉で地区の活動を特徴づけています。その言葉の実質化のためには地区内の合意形成が不可欠であると痛切に感じての地区委員就任となりました。皆様の顔が見え、意見が交換できるのが地区だと思っています。教区でも教団でもない地区の特性と可能性を最大限に引き出すため、少数で決める委員会・地区ではなく、リーダーシップよりもコンセンサスを優先する地区、合同教会としての教団の規律を尊びつつ、その内にある多様性と豊かさ

が地区の豊かさとなるようにお願い、祈りを以て任期を全うし、たく思います。

お祈りください

初雁教会 町田さとみ



まずは、先の二年間の働きのために、お祈りとお支

えを頂き、心から感謝いたします。更なる二年のために、お祈りを宜しくお願いいたします。地区委員に選ばれたときに、ふと、思い出したことがあります。

私は、二〇〇五年の関東教区秋季按手礼式で、按手礼に与りました。式の後、挨拶をした時のことです。「私は、埼玉地区と関東教区を愛し、働きをささげます」と、思わず口から言葉が飛び出しました。その時の言葉を、イエス様はお聞き逃されなかったのか…。

主が愛して立ててください。た地区の教会・伝道所が、主の命に活き活きと生き、福音が伝えられるように。地区諸教会・伝道所が主にあつて一つになり、互いに祈り合い、支え合つて、主のご用のために前進しますように。祈りと働きをささげます。



御言葉と

祈りによつて

浦和別所教会 栗原 初音



ハレルヤ！二期目の委員として微力ながら、地区

の様々な働きの小さな枝として用いられる事は自らの信仰の養いと受け止め、神様から良き知恵と力を頂き、任に当たりたく願っています。

地区全体の教会、伝道所が神様の思いを思いとして成長し、栄光を現す器として用いられる為に、牧者と信徒が御言葉と祈りによつて支え合い、強められ枝々の先端迄行き渡り、元気な地区となります様に、御業が行われます様に、全知全能の主

に期待しつつ…。
♪平和のきずなで結ばれて、霊による一致を保つように努めなさい。(エフェソ四章三節)



地区委員に

選出されて

大宮教会 本田 彰



今から三十年ほど前、地区の教育委員として努めさ

せていただきました。それ以来の地区との関わりになります。今まで大宮教会で養われた事が何らかの形で生かされればと思つていきます。

現在大宮教会では、壮年会と、教会学校に関係して教会生活を送っています。少子高齢化の社会にあつて教会が抱える問題は各教会も同じだと思ひます。地区としてその問題にどのように取り組んでいくかをみんなで考え、少しでもプラスの方向に導かれればと願っています。

また並行してどうしたら子どもでにぎわう教会になるか、大きな課題だと思つています。将来を担う子ども達の成長こそ、神の家族としての教会のエネルギーの源だと考えています。そのような課題を一緒に考えながら少しでも地区の働きにお役に立てればと思つています。よろしく願ひします。

祝 就 任

十地区と二つの接点

愛泉教会 深井 智朗



愛泉教会に
着任しました。
隣設の「愛の
泉」の理事に

就任して以来、教会との交わりも続けてきましたが、今年からは教会の責任も森田弘道先生と共に担うことになりました。

私の埼玉地区とのこれまでの接点は三つあります。一つ目は三十八年前に、埼玉通り伝道所（現埼玉大通り教会）で受洗し、地区の交わりの中で信仰を導いていただき、地区の全体修養会やKRSの活動を思い出します。二つ目は、献身後、教務教師のときに母教会の代務をいたしました。その時も埼玉地区の先生方、諸教会にさまざまにお助けいただきました。三つ目が「愛の泉」との関係です。なつかしい故郷に戻ってきたような思いでおります。

東京の学校との兼務となりますが、どうぞご指導とお交わりをいただきますようお願いいたします。

十「伝えられた者」の喜びを

狭山教会 大久保一秋



神が狭山教会に招いて下さったことを、私は心から喜んでおります。

これまで、神学校の学びの中で、信仰の喜びを伝えようと努めてまいりました。神に与えられた経験が私に示したのは、伝道の喜びは「伝える者の喜び」とどまらないことです。それは、「伝えられた者」の喜びでもあります。そして、伝えられた者の喜びを、今度は私が再び受け取り直します。

私に初めて福音を伝えて下さった飯能教会は、私の家のすぐ近くにありました。教会では、七十年の歴史の中で初めて誕生した教師だと言って、とても喜んで下さいました。その喜びを、私は、自分に向けられた励みとして受け取りました。

この大きな励みを携え、神に召されて、これまで慣れ親しんだ母教会を離れ、狭山教会に赴任いたしました。最初の日は、主の復活を祝うイースターでありました。

十主が運んでくださる

所沢武蔵野教会 渡邊 典子



はじめまして。
教区総会で
准允の恵みに

感謝致します。
信徒から教師へ立場が移り、喜びと共に緊張感を抱いています。「福音を宣べ伝えなさい」とご命令を受け、子育てや仕事が一段落して神学校に入學しましたが、学生時代には家族親族の介護や看病という環境を与えられながらの卒業でした。状況は今も変わりませんが、召命感はむしろ一層強められ、私という器は自分を越えた力に運ばれています。

その力こそ主の復活の命であり救いの福音だと実感します。主の恵みを無駄にしないために、福音を民に宣べ伝える使命を私は与えられました。今後多くの学びが必要ですが、地区の交わりに参加できないこともあることに心苦しさを覚えます。何卒ご指導をよろしくお願ひ申し上げます。主に仕え教会に仕え愛します。教会に連なる人が救いの確信をますます得て喜んで生き、主を讃えたいけますように。

十どうぞよろしく

久美愛教会 鈴木 佳子



一九七六年、
岩村信二牧師
(大森めぐみ)
より受洗。

一九九六年准允、袖ヶ浦ともしび伝道所担任。一九九九年受按。二〇〇〇年峡南教会主任担任に赴任。二〇〇八年上諏訪教会に赴任。

職歴は、十代のころよりクラシックバレエとモダンバレエのダンサー、教師、振り付けをしてきました。牧師であった夫が三十九歳で亡くなった後、Cコースで教師試験を受けました。オルガニスト、カウンセラー、ファシリテーター、複式簿記などの勉強をしました。ただし、パソコンをはじめ、全ての電気製品から嫌われていました。取説を読むのが苦手です。長野から埼玉に移り、駅で出会う人の多さとスピードに戸惑っています。

久美愛教会の牧師として用いていただけますように頑張りますので、皆様のお助けを心からお願ひ申し上げます。

十福音伝道のために

大宮教会 高橋 真之



初めまして。
この度、大宮教会に伝道師として招聘され

ました高橋真之です。思い返せば、大宮教会に遣わされることを神学校の学長から聞いたのは、去年の秋のことでした。しかし、大宮教会について何一つ分からなかったため、戸惑ったことをよく覚えております。そこで、「どういう教会ですか?」と、お尋ねしたところ、「私が昔いたところだ。」という有益な情報の全くない言葉が返ってきました。しかし、その後すぐに、学長は「間違いない教会に君を派遣するから大丈夫だ。」と仰って下さいました。

この言葉を、大宮教会に伝えてみようど一か月がたった今、「本当にその通りだなあ」と感謝を持って受け止めております。右も左も分からぬ若造ですが、このしつかりと立つ大宮教会で、ブレることなく、福音伝道の業に励んでいきたいと考えています。どうぞよろしくお願ひします。

主の憐みの中に

聖学院教会 東野ひかり



二十五年ぶりに埼玉県に戻り十年目となりました。

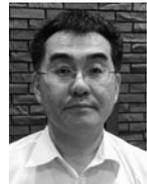
高校を卒業してすぐ東京神学大学に入学。結婚後は横浜、鎌倉で伝道師、副牧師として務めさせていただきました。二〇〇八年の夏、鎌倉雪ノ下教会在任中に体調を崩し、二〇〇九年三月で辞任。夫とともに埼玉に参りました。以来九年間、療養を続けておりましたが、この間、聖学院教会の皆さまの温かい見守りと祈り、家族の忍耐と祈りに支えられ、何より主の憐みの中に、今日まで生かしていただきました。

このたび、聖学院教会の担任教師(副牧師)として教会の務めに復帰させていただきましたこととなりました。体調と相談しながらの務めではありますが、教会のご用に当たらせていただきますことを感謝しております。

私にとっては子供時代の思い出のある埼玉地区です。どうぞよろしくお願いいたします。

舎監一年生として

東京聖書学校吉川教会 原田 彰久



このたび、東京聖書学校教務教師(舎監)、東京聖書学校

吉川教会担任教師としてまいりました。前任地は、九州教区の宮崎清水町教会で、わたしが洗礼を受けた教会ですが、高校卒業後、大学生・社会人として、東京の単立教会で十年ほど過ごしました。また福音派の学生伝道団体であるキリスト者学生会(KGK)を通して信仰を育んでいただきました。

一九九四年から四年間、東京神学大学で学びました。その時、妻の原田のぞみ牧師が群馬県桐生市の泉町教会の主任で、私はここで神学生生活を送りました。神学生として大宮教会で教区面接に臨んだ時のことが思い起こされます。そして九州教区の三教会で二十年余り歩んでまいりました。

東京聖書学校は実践的伝道者の養成を大切に行っています。私も舎監一年生として、神学生と共に歩みたいと思います。慣れていますが、よろしく申し上げます。

再献身

葛浦教会 佐藤 繁



私は十九歳の時に救われ、間もなく基督聖協団聖書学院に入学。長野県飯田教会にて奉仕。しかし、体調不良のため

二十五歳の時、献身の道から退きました。その後、単立幸手キリスト教会に導かれました。妻がはつきりと救われたのは結婚三十五年後、五十八歳の時です。ある大きな問題で妻は死にたいとの思いを抱きましたが、十年後のイースターで聖霊の細き御声を聞き、イエス様が罪人の私のために十字架で死んでくださったことをはつきり知りました。妻の救いは私にとって神様の大きな慰めとなりました。私に再献身の思いが与えられ定年退職後東京聖書学校に入学。厚生教会、小見川教会、現在は葛浦教会(東海林牧師)に遣わされています。七十一歳、息子二人の四人家族です。私の目標は、残された時間を献げ、一人の魂が本当に救われる事。又私の献身が全うされることです。

お祈りをお願い致します。

集会報告

第十七回 I T 祭り

西川口教会 金田佐久子

二〇一八年六月十七日(日)、午後三時から、埼玉新生教会にて第十七回 I T 祭りを開催いたしました。

今回は講師に、著述家で「もつと教会を歩きやすくする本」(キリスト新聞社)の著書として知られている、八木谷涼子氏をお迎えして、「もつと教会を歩きやすくする―あなたと教会―行きやすいですか?」と題して、講演をしていただきました。

古い、掲示物が日焼けしている、掲示されていない、通路に対して垂直になっていない、掲示板は読んでもらいにくいなど、指摘されました。

掲示物が遠くからでもはっきり良く読めるもの、手作り感があふれて放置されていない掲示物も紹介され、生き生きとした感じが伝わるのでした。「どなたもご自由においでください」の一言がほしいとの指摘はその通りだと思います。

礼拝堂の座席の案内、教会の玄関の扉が開いていること、プロテスタント教会での受付カードも、新来者はどう感じるかも、新来者の視点で見つめ直すことができた貴重なひと時でした。自分たちの教会のホームページや、掲示板、看板、受付カードを見つめ直すきっかけになれば感謝です。

講演後、久喜復活伝道所、加須教会、武蔵豊岡教会、本庄教会、七里教会のリニューアルや、オープンしたホームページの紹介を行いました。

十七教会三十七人(講師含む)の方が参加され、良き交わりの時となりました。埼玉地区伝道委員会の後援もあり、参加者が例年より多かったことも感謝でした。(ホームページ委員)

※礼拝音楽の役割と選曲

上尾合同教会 中村 裕子

二〇一八年度の年間テーマを「礼拝の音楽を考える」として掲げ、第一回教会音楽講習会を六月三十日(土)、椎名雄一郎先生(長崎・湯水学院・日本基督教団吉祥寺教会オルガニスト)をお迎えして大宮教会で開催しました。

まず椎名先生による前奏、熊江秀一牧師(大宮)のお祈りによって会が始まり、前半は、音楽の基本の学びをしました。

礼拝の式次第は、教会ごとに異なり、どのような意味で成り立っているか、奏楽者も理解することが重要であり吉祥寺教会の式次第を例に取り上げて解説してくださいました。それらを理解することに

よって、奏楽者は自分が弾きたい曲を弾くのではなく、礼拝で求められている作品を選曲し、奏楽に用いることが重要であるとの事でした。

また、礼拝の音楽で一番難しいのは、讃美歌の音楽であり、奏楽者は、メロディー、テ

ンポを提示し、息継ぎなど会衆をリードし、讃美歌の内容を奏楽で表すことであり、それは、すなわち、信仰告白であると語られました。

先生が「主はわがかいぬし」を奏楽して下さり、みんなで賛美しました。

休憩後は、前奏、その他の奏楽曲の選曲について、予め先生より提示された曲を参加者中の奏楽者が弾き、それらについて解説して下さり、また奏楽用の曲集の紹介もしてくださいました。

会の終わりに、後奏曲を二曲弾いて下さり、出席者一同恵みの時を感謝しました。

今回は、十八教会(含他地区から二教会)、四十二名の参加者が与えられました。また、大宮教会の皆さまのご協力にも心から感謝しています。

第二回目は、十月二十日(土)の予定ですが、更に多くの方々と共に豊かな学びの時が持てますように願い、祈っています。(教会音楽委員)

七月八日(日)、午後三時から五時まで、埼玉新生教会にて、役員・伝道委員研修会が行われ、地区内十三教会から、三十九名が集められました。

テーマは「しゃべり場!さいたまの伝道」。開会礼拝説教者は大坪直史先生(熊谷)でした。「幻がなければ民は堕落する。教えを守る者は幸いである。」(箴言二九章十八節)との御言葉から、この「幻」が、口語訳では「預言」と訳されていることが指摘され、「神の言葉がなければ民は堕落する」と語られました。開会礼拝後、伝道委員長

の久保島泰先生(東大宮)より、話し合いのルールが提示されました。ルールとは「一人三分。皆の話しを聞き合おう。」「他の人の話は否定しない。」「他の人の話に刺激されての話も可。」「今までの成功例も大歓迎。」等々。この研修会に必要なのは議論ではなく、相手の話しを聞き、受け止めることであり、「実現不可能だとは言わない。マインス発言をしない。とにかく

※役員・伝道委員研修会

飯能教会 木村 光寿

領いて欲しい」と、強調されました。



その後、六つの分団に分かれ、語り合いの時間が持たれました。自己紹介や、各教会の伝道の現状、また将来の夢や希望が語られました。今回の研修会の分団の記録は、伝道委員会から地区の各教会・伝道所へ追って配布されます。

各分団の参加者は、交わりを通してお互いを知り、各教会の伝道の現状について知る機会が与えられました。今日、信徒の減少や高齢化が叫ばれていますが、未来の伝道の夢を語り合うことによって、新しい伝道方法を模索する恵みの時が与えられました。(伝道委員)

※埼玉地区婦人部総会報告

所沢武蔵野教会 森生 郁代

四月十六日(月)十時より十二時まで、大宮教会において十四教会・伝道所、一〇九人の出席者のもと開催しました。

開会礼拝では、武井アイ子牧師(上尾使徒)から「わたしの羊を飼いなさい」の御言葉を通して説教をお聴きしました。

議案一〜六まで賛成多数で承認・可決されました。

特記することは、今年度の「対外献金」は、一件当たり少額ですが増額することとしました。そして、可能な限り献金の教会・施設をお訪ねしてお届けしたいと思えます。

加須教会から申し出があった三ブロックから四ブロックへの変更が承認されました。会場より出された意見を記します。

○繰越金が十分あるので、もっと対外献金をお献金してほしい。どうか。

○高齢化に伴い会員が減少することを考えると、会費三五〇円ですべていけるのか。その意味で対外献金についても長期見通しで考慮されたい。

(婦人部委員長)

※教師部一日研修会報告

埼玉大通り教会 川添 義和

七月十日(火)、埼玉地区教師委員会一日教師研修会を「牧会」をテーマに大宮教会で行いました。講師は小林眞先生(最寄り一区/岩槻)、野村忠規先生(最寄り二区/東松山)、温井節子先生(最寄り三区・秩父)で、参加者は四十七名(三十四教会・五伝道所)でした。

最初に講演された小林眞先生は、み言葉によって「人の正しさ」が壊され「神の義しさ」が立つ教会の奇跡、救いのみ業を保持し継続させ、救いの業をその人の生涯で改めて現し続け、感謝し続ける生活を送らせることが牧会の中心だと語られました。牧師は遣わされた教会の教会員を引き受け、救いの業が保持されること、説教を聞かれた教会員が改めて感謝を与えられ、神を深く信じることで起こされていくことの大切さを語られました。

次に講演された野村忠規先生は、病気のために苦しんでおられる教会員を訪問し、その姿を見て牧師として何もできない無力さを経験したけれども、主イエスが教会員、牧師と共におられることの確信を与えら

れ牧会者として歩むことができるようにされた幸いを語ってくださいました。

野村先生は教会員が辛い経験をした時はマルコによる福音書六章五十節のみ言葉を暗記するよう勧めているそうです。牧師は教会員のために執り成しの祈りを捧げることに大切さを教えてくださいました。最後の講演者の温井節子先生は、仕えておられた教会の教会員と共に祈る大切さを語られました。

講演後、昼食をとり、その後、四つの分団に分かれて互いに三人の講演についての話がされました。



今回のテーマである牧会について深く知らされ、分団にて先生方が互いに牧会について語り合う恵まれた時が与えられ深く感謝します。

(教師委員会)

※青年部

「春の集い」報告

東所沢教会 指方 周平

七月十四日(土) 青年部「春の集い」が行われました。

集合場所は坂戸いずみ教会。まずは、キャベツやピーマンを切ったり、ジャガイモの皮をむいたり、トウモロコシをゆでたり、おしゃべりをしながら、バーベキューの下準備を行いました。その間に、続々と青年部メンバーが絡結。準備完了後は徒歩で近くの高麗川河川敷に移動しました。ここでは別動隊がテントを張り、テーブルと椅子を並べて場所を確保、炭火を起こしながら本隊の到着を今か今かと待っていました。

合流後、指方牧師の祈りによってバーベキュー開始。それなのに開始早々、肉をこっそり坂戸いずみ教会の冷蔵庫に忘れてきていたことが判明！こんなんびりしたテンポの中で、和気あいあいと仕事やKK S キャンプ、今回参加できなかった青年の近況など、話題と食事を分かち合いました。

バーベキュー後は坂戸いずみ教会に戻って礼拝。青年部リーダー石井和希兄がマタイ二十六章五十一〜五十五節より

キング牧師と讃美歌「勝利をのぞみ」のエピソードを交えて奨励をしました。礼拝後は次回の再会を期して解散。

今回は六教会から計十二人の参加でした。特に今年度から大宮教会に赴任された高橋真之伝道師が初めて参加してくださり、新たな出会いを喜びました。慣例上「春の集い」とはなっているものの、実際には最高気温三十七度の下、炭火を囲んで開催された「真夏の集い」。非常に暑かったですが、バーベキューだけでなく、主イエスによってつながっている恵みの事実を一緒に味わい直した楽しいひと時でした。

(青年部顧問)



中学・KKS・青年 キャンプへの誘い

東所沢教会 指方 周平

八月十三日(月)〜十五日(水) 中学・KKS・青年キャンプを開催いたします。今年度も会場は、標高一二六〇mの妙義山荒船佐久高原国定公園内にある「山荘あらふね」(長野県佐久市)、キャンプのテーマは「備えていてくださる神さまーヨセフ物語」です。聖書は創世記三十七〜五十五章に聴き、特に「売られるヨセフ」「夢見るヨセフ」「和解するヨセフ」の三場面を参加者で掘り下げ、劇化して分かち合いたいと願っています。

神さまが創造された豊かな自然に囲まれた公園で、懐かしい仲間との再会だけでなく、新しい出会いや恵みの発見もきつと備えられているはずですよ。キャンプを毎年楽しみにしておられる方、初めての方、どうしようかと思案しておられる方も、是非予定に入れて参加してください。神さまの御手の中で、すばらしい二泊三日を共に味わいましょう。

(教育委員会)

特集

「今・そして課題と展望」について地区内諸教会・伝道所がお互いを身近に覚えあう一助になる事を願い、今年度も引き続き「特集」のページを設けました。

十 埼玉大通り教会の歩み

埼玉大通り教会 川添 義和

埼玉大通り教会は、現在の所に会堂と土地が与えられて四十六年になります。神さまの祝福の下、歩んでいます。

私は当教会に赴任して三年目になりました。現任陪餐会員は三十九名。礼拝出席は平均二十五名。とても元気な教会です。

私が、伝道者になりまして、当教会は三番目の任地ですが、聖書研究祈祷会の聖書の説き明かしと祈りの間に、教員が聖書について語り合う機会があるのは初めてのことでした。今まで赴任した教会では、聖書の説き明かしが終わりますとすぐに祈り、その後、しばらく会話があつて祈祷会が終わ



りました。埼玉大通り教会は、祈りの前に聖書について語り合う時間を多くとっています。時には、聖書の箇所とは違う話になりますが、教員は、とても楽しそうに話をしていきます。キリスト教会は、礼拝を大切にしています。主イエスがよみがえられた日を主日と定めて礼拝を捧げています。ですから礼拝によって力づけられて歩むことはとても大切です。それに加えて、兄弟姉妹たちが共に語り合うことも大切です。教員たちが、どのような思いで、信仰生活を送られているのか。牧師も信徒もお互いに話をする機会があることは幸いです。今年度はホームページを作成します。トラクトも作成し、近隣に配布します。この働きが神様に祝されますよう、また当教会を覚えてお祈りくだされば幸いです。

十 課題と展望

埼玉和光教会 岩河 敏宏

私は、二〇一七年四月から埼玉和光教会の皆様と共に歩み始めたばかりです。よって、十分な内容とはなり得ていないことをお許し頂きたい。

私が感じる当教会の特徴は幾つかありますが、私の意識に強くあるものを記させて頂きます。

埼玉和光教会の教会学校には、幼稚科・小学科・ジュニアクラス・成人科があり、全世代に神の御言葉が語られていることです。この様な恵まれた環境を、最大限に活かすためにどんな挑戦が可能なのか、しっかりと取り組んでいくことが課題だと言えるでしょう。

日曜日の午前九時から教会学校が始まるのにあわせて、保護者の方が園児を連れて来ます。保護者の中には、迎えに来るまでの間に、成人科での礼拝に参加される方がおられます。人間の知恵が絶対視され、神(宗教)が軽視



される傾向が強い現代にあつて、大きな希望が与えられています。教会が丁寧に宣教のビジョンを示していくことで、幼稚園の教職員とも連携しつつ共に歩む道を展望していきたいと祈っています。

十 小さな群れよ恐れるな

本庄教会 足田國麿

本庄教会に遣わされて二年目の二〇一八年は、本庄教会創立一三〇周年を迎え、十月十四日に創立記念礼拝を献げます。着任以来、主から示されている御言葉は、ルカ福音書十二章三二節の御言葉です。

「小さな群れよ、恐れるな。あなたがたの父は喜んで神の国をくださる。」

父なる神は、主イエス・キリストを通して、すでに神の支配の御手の中に、喜んで本庄教会の群れを置いてくださり、神の国を実現して下さっているのです。この「父が喜んで神の国をくださる」恵みの歩みが一三〇年続いている喜びを祝うのが創立一三〇周年記念ということでしょう。

父なる神のご支配の恵みが本庄教会の群れを通して、本庄

の地域全体に豊かに注がれていることを、喜びをもって証し伝える年でありたいと願っています。

今、教会員の子供たちが育つていって、教会学校(幼稚・小・中学科)は開店休業です。幼い子供たちが集まることのできる教会をと祈っています。

創立一三〇周年にあたり二十七年前まで、四十三年間に渡って地域の幼児教育を担ってきた本庄教会付属の友愛幼稚園(二十七年前に閉園)の卒園生と保護者の同窓会を計画しています。これを機に皆さんとの親交を深めると共に、本庄における役割を新たに見出す時となればと願っています。

「見よ、新しいことをわたしは行う。いまや、それは芽生えている。あなたがたはそれを悟らぬのか。わたしは荒れ野に道を敷き、砂漠に大河を流れさせる。」(イザヤ書四三章十九節)

神が本庄教会を用いてなされる新しい御業に期待し、喜んで仕えて行きたいと願う祈っています。



地区委員会報告

※二〇一八年度第一回委員会

日時 三月二十一日(水)

会場 埼玉新生教会

出席 十一人

陪席 五人

●主な協議事項

一、埼玉地区総会諸報告承認及び議案決定事項の確認の件

総会補助書記の木村光寿伝

道師と正田義也牧師の陪席の

もと、二〇一八年度埼玉地区総

会報告の承認と議案の決定事

項の確認を行った。

二、地区委員の担当・役割分担

の件

委員長 川染 三郎

副委員長 小林 眞

書記 大坪 直史

会計 町田さとみ

補助書記 川口 孝弘

補助会計 大熊 眞弓

伝道 大坪 直史

教育 指方 周平

社会 小林 眞

教師 竹内紹一郎

地区通信 大熊 眞弓

H P 金田佐久子

修養会 小林 眞

壮年部 本田 彰

婦人部 栗原 初音

青年部 指方 周平

障教懇 金田佐久子

教会音楽 川口 孝弘

埼玉宗連 竹内紹一郎

同宗連 竹内紹一郎

教誨師 小林則義・委嘱

カルト問題

白石多美出・委嘱

三、委員会日程と会場の件

第二回 五月十一日(金)

会場・埼玉新生教会

●閉会祈祷 川染三郎

※二〇一八年度第二回委員会

日時 五月十一日(金)

会場 埼玉新生教会

出席 十一人

●主な報告

一、地区内の教会・教師の報告

◎就任 (主) 深井智朗(正)

・愛泉 (担) 森田弘道(正)

・大宮 高橋真之(未)

・所沢武蔵野 渡邊典子(未)

・久美愛 鈴木佳子(正)

・狭山 大久保一秋(未)

・菖蒲 佐藤 繁(未)

・東京聖書学校吉川

(主) 原田のぞみ(正)

(担) 原田 彰久(正)

・聖学院大学宗教センター

久保哲哉(正)

◎辞任

・愛泉 (主) 森田弘道(正)

・久美愛 遠藤公義(正)

・狭山 森 淑子(正)

・東京聖書学校吉川教会

深谷春男(正)、深谷美歌子

(正)、佐々木羊子(正)、原田

のぞみ(正)、湯目瑞枝(補)

・羽生の森 高橋和彦(補)

福島 真(補)

・東京聖書学校

(教) 都築英夫(正)

◎辞任・隠退

・羽生の森 田村信征(正)

・東京聖書学校

(神) 西海満希子(正)

二、会計報告

三月一日から五月十日分

三、各委員会・各部報告

●主な協議事項

一、地区総会付託議案に関する

件 ◎議案第七号 地区会計監査

選任の件 候補者を決めた。

◎議案第八号 地区総会議事

録承認に関する件

二〇一八年度埼玉地区総会

議事録」を承認。

◎議案第九号 次回地区総会

会場及び日程の件

日時：二〇一九年三月二十

一日(木) 午前九時三〇分〜午

後四時と会場教会候補を決め

た。継続審議。

二、地区委員会主催集會等に関

する件

①新年合同礼拝の件

日時：二〇一九年一月十四日

(月) 午前十時三十分開始。今

年度は最寄り区毎に行く。

②地区総合協議会の件

日時：二〇一九年二月十二

日(火) 午後七時開始。会場教

会の候補を決めた。継続審議。

③伝道協力協議会の件

日時・会場・内容について

五役会一任の上、継続審議。

三、教区総会設営に関する件

設営担当の栃木地区からの

依頼により第六十八回関東教

区総会運営奉仕者を決めた。

四、教団伝道資金本年度運用案

の件

今年度は「埼玉地区ハンド

ブック」作成とホームページ作

成支援に充当することを承認。

五、諸申請の件

次の申請について承認。

・埼玉地区伝道支援金

七里教会 一三、五〇〇円

狭山教会 金額は調整中

・教師退職金互助

桶川伝道所 三五、六四〇円

・教師年金掛金互助

本庄旭教会 三五、六四〇円

六、埼玉地区内規の慶弔規定変

更に関する件

今後、お見舞金の支給条件

は、入院日数二週間以上もし

くは十万円以上の医療費と

なった場合、または地区委員

会が特に認めた場合に変更

した。

七、地区委員会日程及び会場等

の件

次の予定を承認。

第三回 七月 六日(金)

第四回 九月十四日(金)

第五回 十一月十六日(金)

第六回 一月十八日(金)

第七回 二月十五日(金)

会場・埼玉新生教会

●閉会祈祷・小林 眞

今年度の地区の歩みも三分

の一が過ぎようとしています。

総会報告、新地区委員の挨拶、

八教会に就任された八人の

教師のご紹介でご挨拶や抱負

を寄稿していただきました。

「特集」も継続して三教会から

寄稿していただきました。毎年

この時期に開催する各委員会、

部会の集會報告は、様々に工夫

し企画しているのを感じつつ

つ編集し、地区通信四十七一

号をお届けします。

今年度は、例年になく早い梅雨

明けを迎え、酷暑の日々が続い

ています。猛暑の中で行われる

集會、各教会で企画している行

事が、主のお守りの中に無事に

開催されますように祈ります。

(茨木八公子)

編集後記